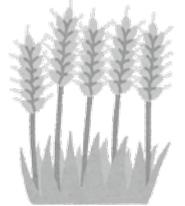


さっくさく！  
ゆめかおりの「おつまみラスク」



意外と分別できていない!?  
空き缶も資源物です！



問 農業政策課  
☎内線1811、1812



牛久産ワイン「レガメ2015」の販売にあわせて、先着500人にプレゼントされたラスクが「サクサクで美味しい！」と評判です。  
このラスクは、うしくグリーンファーム株式会社が生産した牛久産小麦ゆめかおりを100%使用しています。今回プレゼントされたのはおつまみにぴったりのガーリックとペッパーマヨの2種類。担当した「みのるの郷パン工房」(さくら台)の佐川美咲さん(写真)は、「お酒が苦手なので、ワイン好きの人からアドバイスをもらいながら、配合や、焼き時間、温度などを変えて、一生懸命に試作を重ねました」とコメント。地場産農作物を活用した地産地消の美味しい一品となりました。

このラスクは、同施設敷地内のカフェ「スペースあい」で販売しています。また、毎週水曜日には、市役所本庁舎ホールでパンと一緒にラスクも販売されていますので、いろいろなフレーバーをお楽しみください。

◆問い合わせ 社会福祉法人新世会障害者施設  
みのるの郷 ☎8686



ごみ&リサイクル

問 廃棄物対策課 ☎内線1571~1573  
牛久クリーンセンター ☎830-9333

牛久クリーンセンターで最近よく見かけること…それは、「飲料の空き缶が燃えないごみの袋で捨てられている」ことです。



これは昨年12月に撮影した、牛久クリーンセンターの不燃物ピット内です。燃えないごみの袋に、びっちりトスチール缶が入れて捨てられています。

ちなみによく見ると、周りには燃えないごみの袋が入っていた袋(燃えるごみ)や、ペットボトル(資源物)も確認できます。牛久クリーンセンターの職員によると、最近特にこのような状況が目立つそうです。

捨てればごみ  
分別すれば資源

牛久クリーンセンターには、毎日市内中のごみや資源物が収集され、持ち込まれます。それらをすべて作業員や機械で選別するにも限界があります。  
市民の皆さん一人一人が、日々のごみ出しでの分別を徹底することで、ごみを減らし、資源物を増やすことができます。ごみの分別をもう一度見直し、ごみの減量と資源化にご協力ください。